

# 可児市内大森発生土仮置き場における 環境の調査及び影響検討の結果について



令和元年12月

東海旅客鉄道株式会社

1

## 目次

---

### 【本編】

第1章 本書の概要

第2章 工事概要

第3章 調査及び影響検討の手法

第4章 調査結果の概要並びに影響検討の結果

第5章 環境の保全のための措置

第6章 環境保全措置の効果に係る知見が不十分な場合の調査

第7章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価

### 【資料編】

【資料編(非公開版)】

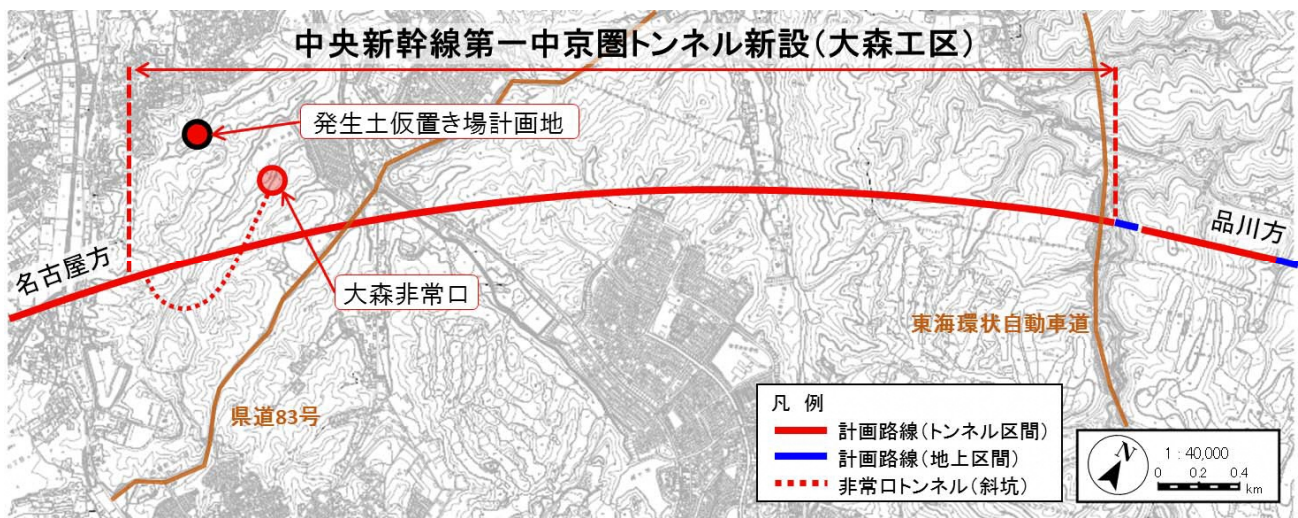
2

## 本書の概要

- 中央新幹線事業については、環境影響評価を実施し、岐阜県内においては平成26年8月に評価書を取りまとめ、平成26年10月17日に工事実施計画の認可を受け、工事に着手しました。
- 評価書では、発生土置き場等を新たに当社が計画する場合には、場所の選定、関係者との調整を行った後に、評価書の環境保全措置の内容を詳細なものとするための調査及び影響検討を実施することとしました。
- 本影響検討書は、可児市内大森で計画が具体的となった発生土仮置き場について、調査及び影響検討を行った結果を取りまとめたものです。
- なお、環境保全措置の具体的な内容については、工事着手までに公表する予定です。

3

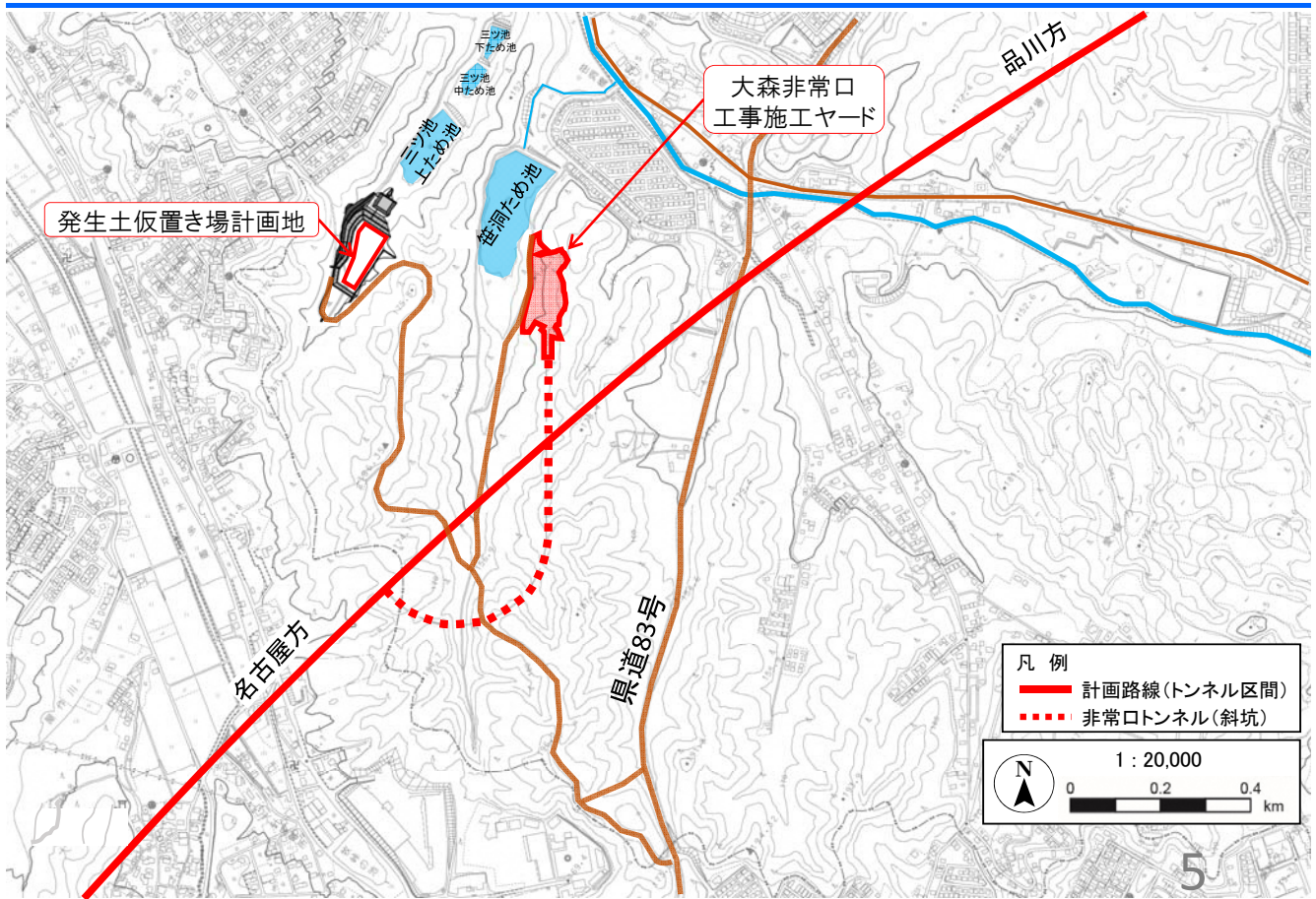
## 工事概要(工事位置)



4



# 工事概要(工事位置(拡大図))



# 工事概要(現況①)

補足資料





# 工事概要(現況②)

補足資料



# 工事概要(現況③)

補足資料





# 工事概要(現況④)

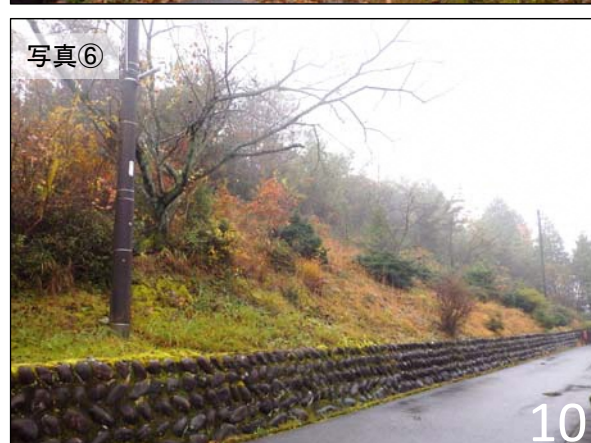
補足資料



9

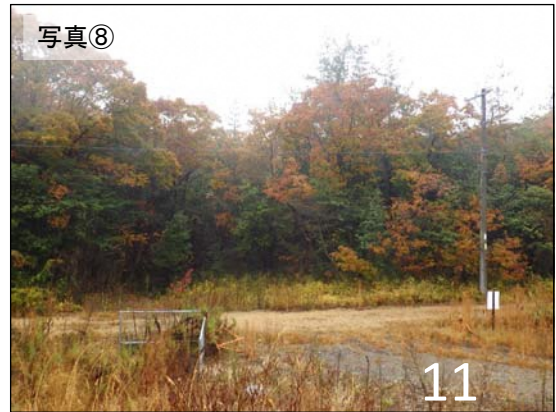
# 工事概要(現況⑤)

補足資料



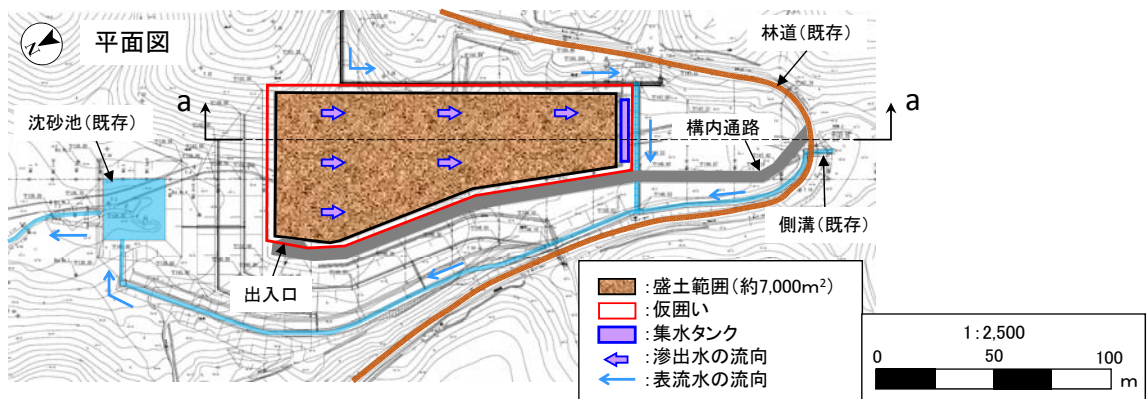
10



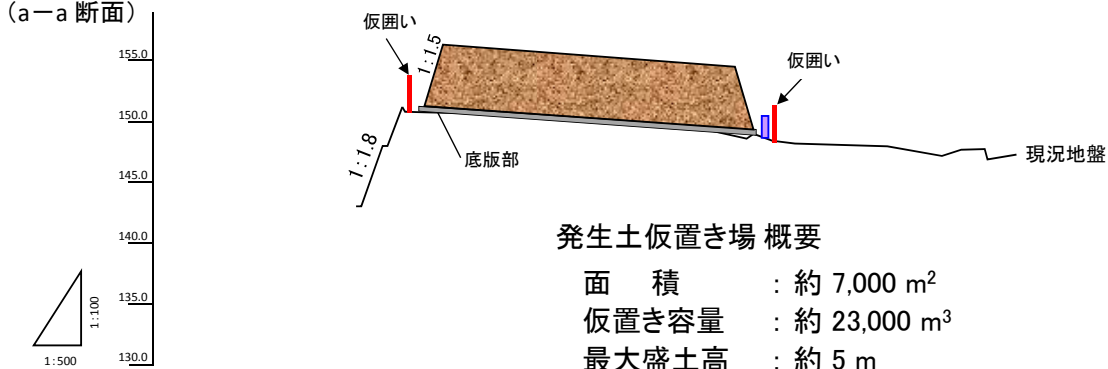


工事概要(仮置き場計画地①)

意見を踏まえた補足(縦断面図)

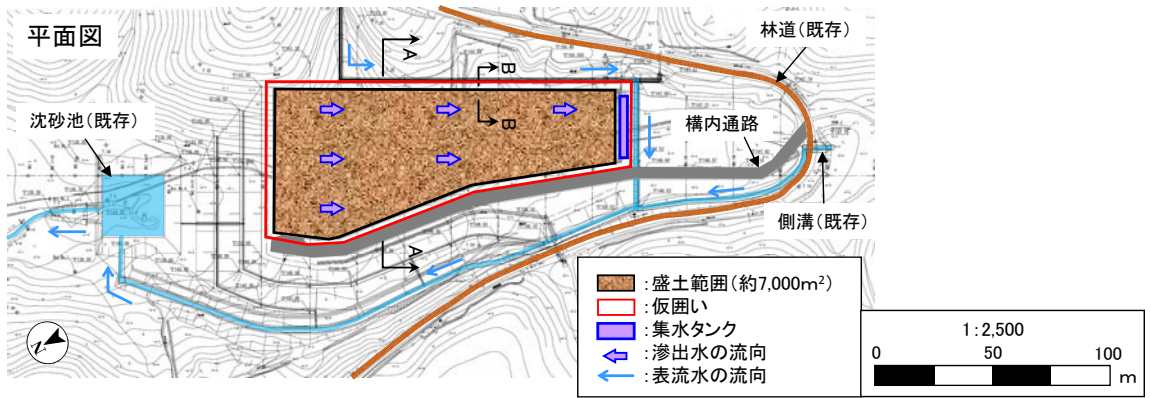


縦断面図 (a-a断面)

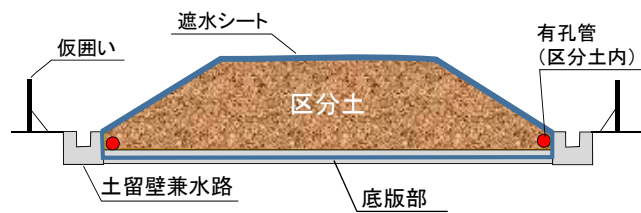




# 工事概要(仮置き場計画地②)

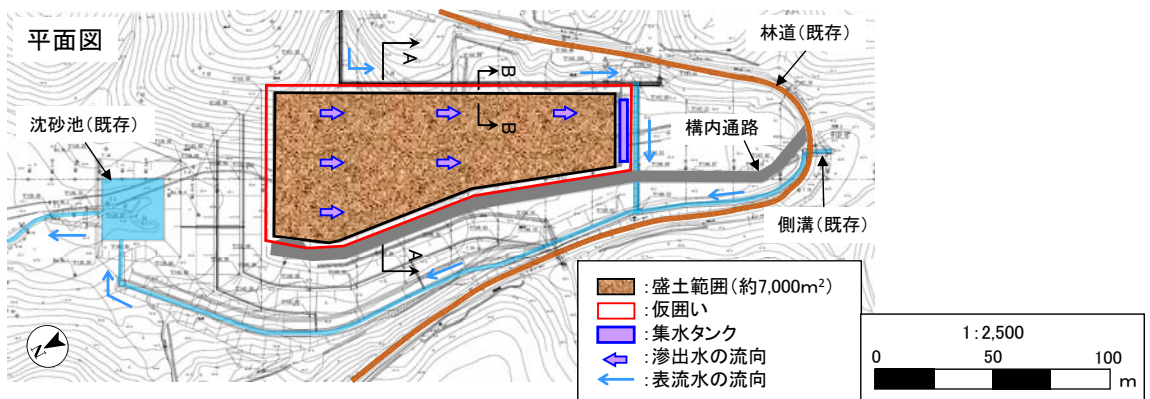


断面図(A-A)

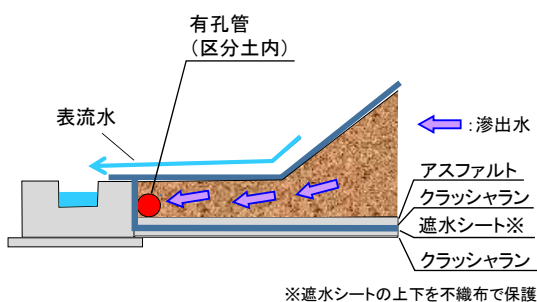


13

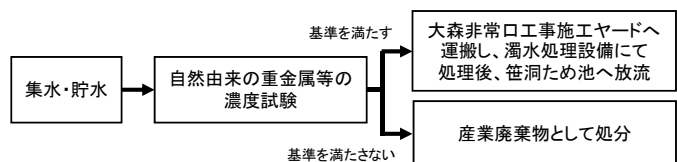
# 工事概要(仮置き場計画地③)



断面図(B-B)



排水計画



14



# 工事概要(工事工程)

## 工事工程※1

| 作業名      | 項目                              | 年度 | 令和元年 |   | 令和2年 |   |   |   | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|----------|---------------------------------|----|------|---|------|---|---|---|------|------|------|------|
|          |                                 |    | Ⅲ    | Ⅳ | Ⅰ    | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ |      |      |      |      |
| 準備工      | 不陸整正、土留壁、排水設備設置、アスファルト舗装、遮水シート等 |    |      | ■ |      |   |   |   |      |      |      |      |
| 盛土工(仮置き) | 区分土搬入、盛土整形、遮水シート等設置等            |    |      |   | ■    | ■ | ■ | ■ | ■    | ■    | ■    | ■    |
| 撤去工      | 区分土搬出、原形復旧等                     |    |      |   |      |   |   |   |      |      |      | ■    |

※1. 工事の状況によって計画が変更となる場合があります。

※2. 搬入・仮置き期間については、区分土の搬出期間により前後する場合があります。

※3. 当該箇所から発生土置き場(遮水型)への区分土搬出等のため、工事用車両を運行させる場合があります。

# 工事概要(建設機械の稼働台数)

意見を踏まえた補足(資料編より)

- 建設する構造物の規模や施工条件に基づき、施工方法を決定し、各工種で必要な建設機械を選定しました。
- 選定した建設機械について、計画の工期及び建設機械1台当たりの施工能力を考慮して、台数を求めました。

## 建設機械の種類及び台数

| 工事位置          | 工種  | 建設機械         | 規格                   | 稼働台数  | 台数     |     |
|---------------|-----|--------------|----------------------|-------|--------|-----|
|               |     |              |                      | (台/日) | 最大台数/月 | 総台数 |
| 可児市内大森発生土仮置き場 | 準備工 | バックホウ        | 0.8m <sup>3</sup> 級  | 2     | 50     | 75  |
|               |     | ブルドーザ        | 15t級                 | 1     | 25     | 50  |
|               |     | タイヤローラ       | 8~20t級               | 1     | 25     | 50  |
|               |     | ラフタークレーン     | 25t                  | 1     | 1      | 2   |
|               | 舗装工 | アスファルトフィニッシャ | 6.0m                 | 1     | 10     | 10  |
|               |     | タイヤローラ       | 8~20t級               | 2     | 50     | 50  |
|               |     | モーターグレーダ     | 幅3.1m                | 1     | 25     | 25  |
|               |     | バックホウ        | 0.28m <sup>3</sup> 級 | 1     | 25     | 25  |
|               | 盛土工 | バックホウ        | 0.8m <sup>3</sup> 級  | 1     | 25     | 150 |
|               |     | ブルドーザ        | 15t級                 | 1     | 25     | 150 |
|               | 撤去工 | 大型ブレイカ       | 1300kg級              | 1     | 25     | 50  |
|               |     | バックホウ        | 0.8m <sup>3</sup> 級  | 1     | 25     | 50  |

※工事の状況によって計画が変更となる場合があります。

※区分土が集中して発生した時の最大値を示しています。

※建設機械が稼働する台数の最大値を示しています。



# 工事概要(工事用車両の運行台数)

- 使用する主な工事用車両は、区分土等を運搬するダンプトラックや土留壁設置のためのコンクリートミキサー車、資機材等の運搬用のトラックを想定しています。
- 本工事における工事用車両の想定台数の推移は下表の通りです。

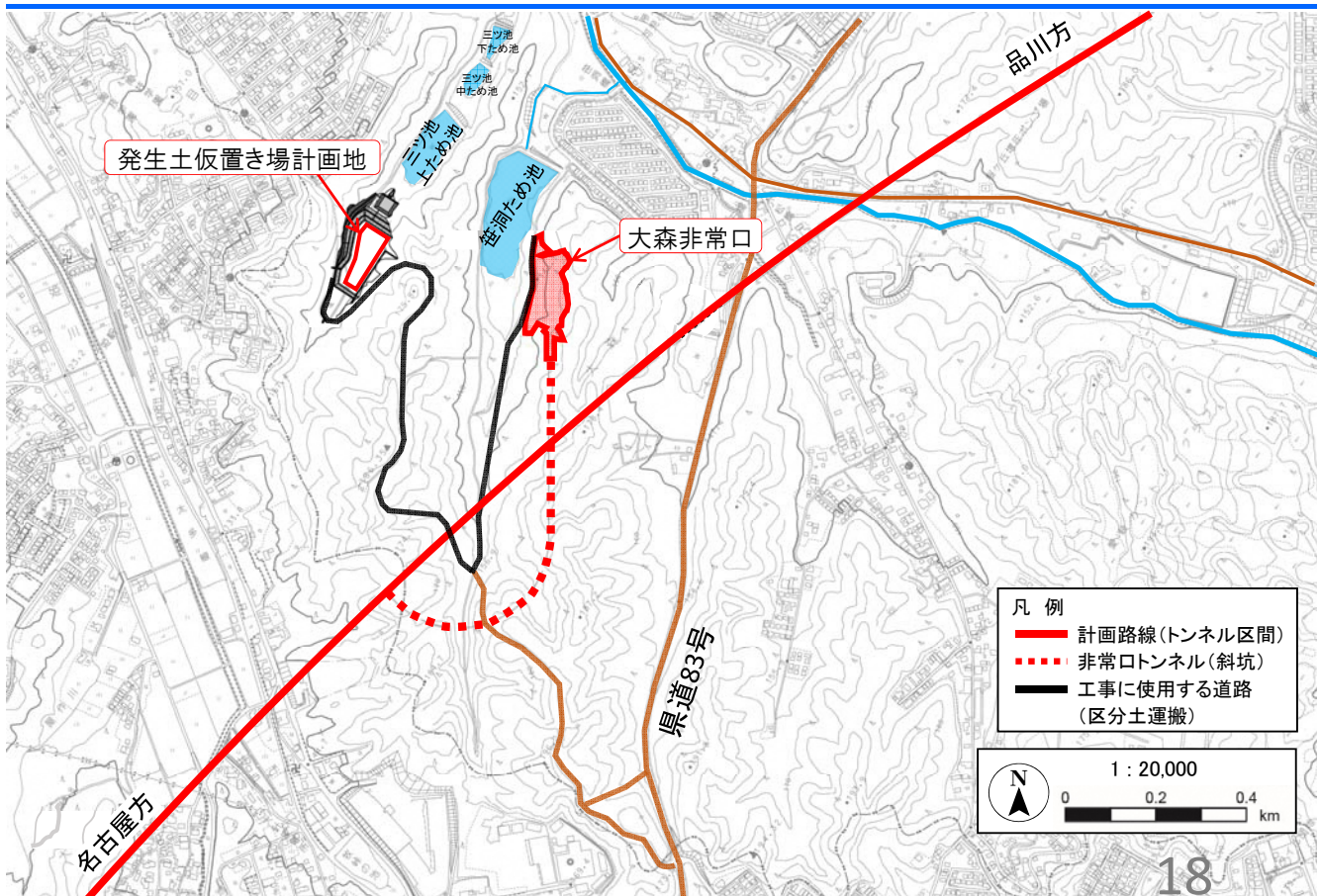
工事用車両台数(台/月)※1

| 種類          | 年度 | 令和元年 |               | 令和2年           |                           |   |   | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年           |
|-------------|----|------|---------------|----------------|---------------------------|---|---|------|------|------|----------------|
|             |    | Ⅲ    | Ⅳ             | Ⅰ              | Ⅱ                         | Ⅲ | Ⅳ |      |      |      |                |
| ダンプトラック     |    |      |               | 片道最大<br>400台/月 | 片道最大3680台/月(片道最大160台/日)   |   |   |      |      |      | 片道最大<br>300台/月 |
| コンクリートミキサー車 |    |      | 片道最大<br>40台/月 |                |                           |   |   |      |      |      |                |
| トラック(10t)   |    |      | 片道最大<br>30台/月 | 片道最大<br>30台/月  |                           |   |   |      |      |      | 片道最大<br>20台/月  |
| 計           |    |      | 片道最大<br>70台/月 | 片道最大<br>430台/月 | 片道最大3680台/月(片道最大160台/日)※2 |   |   |      |      |      | 片道最大<br>320台/月 |

※1. 工事の状況によって計画が変更となる場合があります。

※2. 当該箇所から発生土置き場(遮水型)への区分土搬出等のため、工事用車両を運行させる場合があります。

# 工事概要(工事用車両の運行ルート)





# 調査及び影響検討項目

| 検討項目               | 影響要因    |                    |            |
|--------------------|---------|--------------------|------------|
|                    | 建設機械の稼働 | 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行 | 発生土仮置き場の設置 |
| 大気質(二酸化窒素・浮遊粒子状物質) | ⊖ ①     | ⊖ ②                | —          |
| 大気質(粉じん等)          | ⊖ ①     | ⊖ ②                | —          |
| 騒音                 | ⊖ ①     | ⊖ ②                | —          |
| 振動                 | ⊖ ①     | ⊖ ②                | —          |
| 水質(水の濁り)           | —       | —                  | ⊖ ⑤        |
| 水質(水の汚れ)           | —       | —                  | —          |
| 重要な地形及び地質          | —       | —                  | ○          |
| 土壤汚染               | —       | —                  | ●          |
| 文化財                | —       | —                  | ○          |
| 動物                 | ⊖ ①     | ⊖ ③                | ⊖ ⑥        |
| 植物                 | —       | —                  | ⊖ ⑥        |
| 生態系                | ⊖ ①     | ⊖ ③                | ⊖ ⑥        |
| 景観                 | —       | —                  | ⊖ ⑦        |
| 人と自然との触れ合いの活動の場    | —       | —                  | ⊖ ⑦        |
| 温室効果ガス             | ⊖ ①     | ⊖ ④                | —          |

- ① 建設機械の台数が少ないこと等から非選定
- ② 運行ルート沿いに住居等が存在しないことから非選定
- ③ 既存の道路を活用するものであることから非選定
- ④ 車両の台数が少なく、運搬距離が短いことから非選定
- ⑤ 仮置き場からの排水はしないことから非選定
- ⑥ 現地は既に改変されていることから非選定
- ⑦ 発生土仮置き場が恒久的に存在するものではないことから非選定

- ： 評価書作成時において選定した項目
- ⊖： 評価書作成時において選定した項目で、非選定とした項目
- ： 今回調査及び影響検討項目に追加した項目

## 重要な地形及び地質の影響検討結果

### 発生土仮置き場の設置

#### ●検討手法

- 事業の実施に伴う重要な地形及び地質への影響を明らかにすることにより、定性的に検討しました。

#### ●検討結果

- 発生土仮置き場の設置に伴い改変の可能性がある範囲には重要な地形及び地質が存在しないことから、重要な地形及び地質に係る環境影響は回避されています。

## 土壌汚染の影響検討結果・主な環境保全措置

---

### 発生土仮置き場の設置

#### ●検討手法

- ・ 発生土仮置き場の設置に係る工事計画を勘案し、土壌汚染を定性的に検討しました。

#### ●検討結果

- ・ 仮置き場における区分土及び排水の適切な管理を行い、区分土の流出及び排水による汚染や仮置き場からの地下水への浸透を防止することから、土壌汚染を生じさせることはないものと考えられます。

#### ●主な環境保全措置

- ・ 発生土仮置き場における掘削土砂の適切な管理
- ・ 工事排水の適切な処理
- ・ 要対策土の適切な運搬

21

## 文化財の影響検討結果

---

### 発生土仮置き場の設置

#### ●検討手法

- ・ 発生土仮置き場の計画地と文化財の分布状況の重ね合わせから、文化財が消失又は改変される範囲を把握し、文化財への影響を定性的に検討しました。

#### ●検討結果

- ・ 指定等文化財は、土地の改変の可能性のある範囲から回避する計画としているため、指定等文化財への影響はありません。

22



# 環境影響の総合的な評価

| 環境要素の区分          | 影響要因の区分    | 評価結果  | 事後調査  |
|------------------|------------|---|-------|
| 重要な地形及び地質<br>文化財 | 発生土仮置き場の設置 | 環境影響の回避が図られているものと考えられます。  | 計画しない |
| 土壌汚染             | 発生土仮置き場の設置 | 環境保全措置を確実に実施することから、事業者により実行可能な範囲内で、環境影響の回避又は低減が図られているものと考えられます。 | 計画しない |

23

## 事後調査及びモニタリング

### ●モニタリングの計画

| 環境要素の区分 | 調査項目                    | 調査地域・地点の考え方 | 調査期間の考え方   |
|---------|-------------------------|-------------|--|
| 地下水等の水質 | 水素イオン濃度 (pH)            | 地下水(観測井)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事前に1回</li> <li>・工事中に月1回</li> <li>・工事後に月1回(定常化するまで)</li> <li>・工事後、水質定常化後に四半期に1回※<sup>2</sup></li> <li>・撤去後に月1回(定常化するまで)</li> </ul> |
|         | 自然由来の重金属等※ <sup>1</sup> |             |  |
| 土壌汚染    | 自然由来の重金属等※ <sup>1</sup> | 発生土仮置き場     | 撤去後に1回   |

※<sup>1</sup> 調査対象とする自然由来の重金属等は、保管した土の汚染状況等を踏まえて選定する。

※<sup>2</sup> 仮置き期間中は四半期に1回を継続する。

※ モニタリングとは別に、遮水シート等の設備の確認のため、発生土仮置き場の下流地点において定期的に水質を測定する。

24